様式第１号（第８条、第９条関係）

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

Ｒ２　年　10　月　7 日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所　（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県長浜市田町30番地

氏名　（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

エルナープリンテッドサーキット株式会社

代表取締役社長　楊　其苟

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例　第20条第３項　・ ~~第20条第４項~~ ~~第22条第１項~~　・ ~~第22条第２項において準用する~~ ~~同条例第20条第４項~~ の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	エルナープリンテッドサーキット株式会社 代表取締役社長　楊　其苟
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県長浜市田町30番地

１　事業所の概要

事業所の名称	エルナープリンテッドサーキット株式会社　浅井工場					
事業所の所在地	滋賀県長浜市三田町1713-1					
主たる事業	細分類番号	2	8	4	1	電子回路基板製造業
該当する事業者の要件	☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					

２　計画の内容

計画の内容	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第１号

（第１面）

１　計画期間

計　画　期　間	2　　年度　～　　5　　年度

２　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

1. 関連する環境法規制、条例、協定、顧客要求を遵守し、環境負荷の低減及び環境汚染の防止と、放流河川の生物多様性、生態系の保護を図ります。

2. 事業活動に伴う環境への影響を考慮し、温室効果ガスの排出抑制、廃棄物の削減及び再資源化を継続的に実施し、環境パフォーマンスの向上を図ります。

3. 事業活動に伴う騒音、振動、悪臭などの発生及び苦情の防止を図り、地域住民及び行政とのコミュニケーションを図り共生に努めます。

4. 労働安全衛生に配慮した適切な作業環境の維持をします。

5. 製品含有禁止物質の不使用を確実にします。

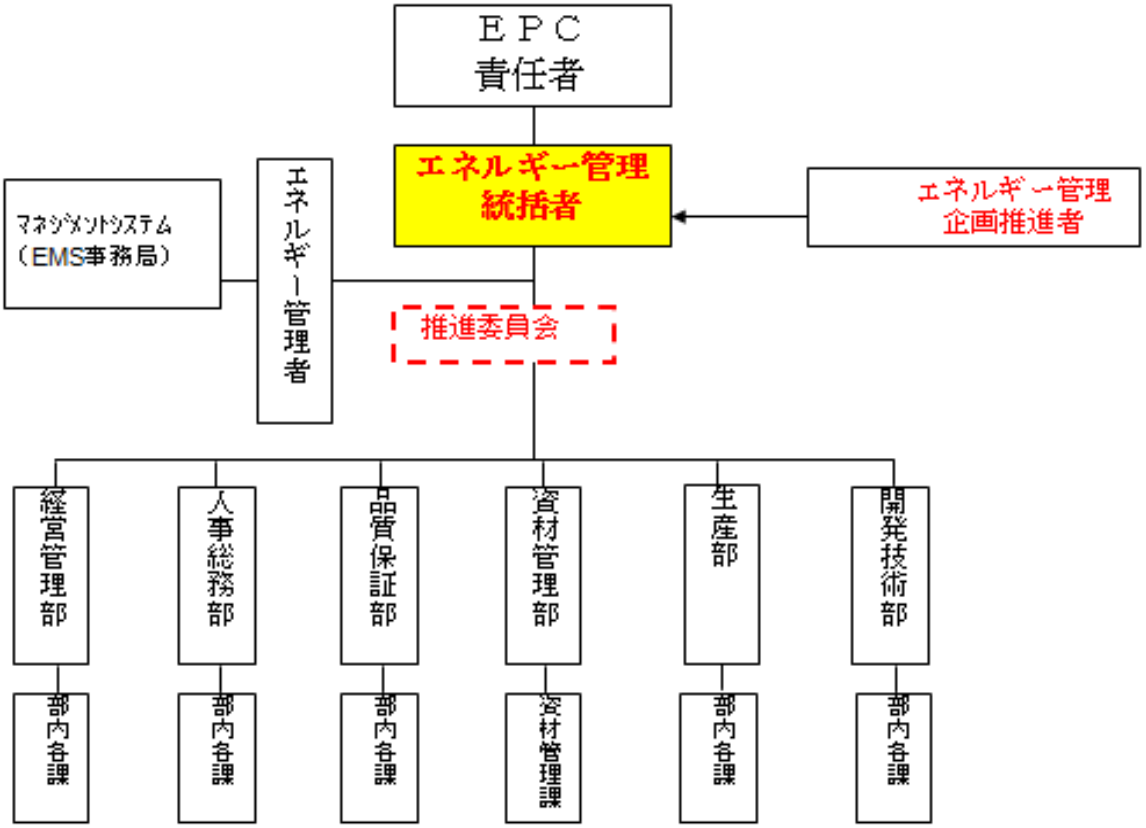
6. 供給者や委託業者に対し環境方針を周知し、従業員を更に環境保全意識が高く、なすべき行動を取れる人材に育成します。

３　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

別紙による

備考　　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



４　これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

工場内の圧縮エアーの漏れを改修 圧縮エアーの配管径、ルート等の見直しによる損失低減を図る 空調室外機の遮光板取付などによる使用電力量削減 製造設備の自動停止強化 空気圧縮機4台を高効率型に更新する 用水汲上げポンプ等、常時稼働設備の運転時間、制御方法の見直しにより無駄な稼働を抑える

５　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

（１）エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実　施 スケジュール
1	運用対策	工場内の圧縮エアーの漏れを改修	令和2年～ 令和5年
2	設備導入 対策	コンプレッサーの機種変更による電力量の削減	令和2年
3	設備導入 対策	コンプレッサーの台数制御	令和2年
4	運用対策	空調室外機の遮光などによる使用電力量削減	令和3年～ 令和5年
5	設備導入 対策	外気導入による空調負荷の低減　（給気装置導入による冬季冷房運転の解消）	令和3年～ 令和5年
6			
7			
8			

（２）エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガス の種類	取組の内容	実　施 スケジュール
1			
2			
3			

（３）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標: 原単位1%/年　削減

・原単位の分母

工場内の主要2部門の工程で生産される回路基板の面積を算出したものを合計して原単位の分母としている。工程の一部を外注に送り出して加工する場合などはそれを除外している。

製造する品種によっては同一面積の生産でも大量の電力を使用する製品がある為、受注する品種によって原単位が大きく変動してしまい、原単位削減努力が数値として現れない。 この為、品種に応じてあらかじめ定めた係数を乗じて各工程の生産面積を補正することで電力削減努力が数値に表れるようにしている。

・原単位の分子

原単位の分子は電力使用量の原油換算値を用いており、これを上記の分母で除したものを原単位としている。

目標設定の考え方:

歩留り改善の為の定期清掃、計画保全を充実させたことにより、設備停止から再立ち上げに伴なう初期昇温などの使用電力が増大し、目標達成が困難な傾向になっている。さらに近年、働き方改革により所定時刻に生産を打ち切るなど生産性についても負の影響が増えてきた。これら諸問題について運用面、制御面で徹底的な対策を行えば目標達成は可能と考えている。

６　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

（１）取組の内容等

当事業場はプリント基板の製造、販売を主たる事業としており、近年には車載基板が主要な販売品目の一つとなっています。中でも低燃費車、ハイブリッド車に搭載される基板はその環境への貢献度も高く、これらの拡販により低炭素化を推進する力となるものと考えています。

（２）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

車載品に関して国内品質　No.1を目指す

7　その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実　　施 スケジュール
1	3Rの推進	廃プラスチック類その他の廃棄物を再生使用できる原料として売却、社内での再利用を促進する。 2021年度末までに特定品目について排出量の20%を削減する。	令和2年度～ 令和5年度
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			